

かべ新聞

第 116 号

2017 年
10 月 22 日

J R 東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

5階の会社掲示

『ミスをする社員は処罰する！』 脅しのような警告文では萎縮するだけだ！

仕業検査車両所 5 階の業務掲示板には、上記の内容の掲示がされています。

「EGS の誤投入によってどれだけお客様や会社に被害が被ったとか、今、取りざたされている大手メーカーによる問題（データ改ざんや無資格検査など）がコンプライアンスに抵触しているとも書かれ、そこに付随するかのようにチェックシートの記入漏れ、間違い、アリス入力間違い、入力忘れなどもあり、大きなことにつながりかねないと……、これから間違った社員には厳正に対処する。」と一種脅しのような内容である。

一つの作業を行えば必ずチェックシートや何がしかの用紙に複数記帳しているのが現状です。私たちは誰しものが間違いやミスを起こそうと作業を行っている訳ではありません。何らかのアクシデントなどが重なったりすることがヒューマンエラーを誘発する原因です。

会社は「プロ意識を持つ」「自覚を持って作業しろ」と声高にうたっています。「失敗するのは未熟だ」と恫喝して『半人前』という風潮をつくり上げ社員を萎縮させます。『失敗するのはおかしいのだ！』と決めつけ知らず知らずに何も言わない、何も言わせない社員づくりをしているのです。

強権的な態度を取り、時にはアメとムチを使い分け『命令と服従』『規律と忠誠心』の労務管理の強化を目指しているのです。

「間違った社員には厳正に対処する！」 は、管理者のパワハラだ！

仕業車両所では、現にヒューマンエラーを起こして担務が変更になったり職場が変わった社員がいます。慣れない職場にまごついています。このように社員をあからさまに見せしめ的に扱ってもよいのか！社員全体の作業意欲が失われるばかりです。

私たちは、管理者の恫喝やレッテル張りに屈せず、職場環境の改善、働きやすい職場をくるため奮闘します！